

緑のカーテン作りにチャレンジ

初夏の日差しが降り注ぐ5月24日、本店ビルの一角に用意された5つのプランターに、朝顔とニガウリの種をまきました。つる性植物で建物の壁面や窓を覆って夏の強い日差しを遮り、壁や部屋の温度上昇を抑える効果がある「緑のカーテン」を設置するため、種は毎年「緑のカーテンキャンペーン」を実施している中部電力殿からいただいたものです。

4、5日後には朝顔の芽が次々と土の中から出始めて双葉が広がりましたが、ニガウリのプランターには全く変化がありません。まき直しが必要かと心配していましたが、朝顔の発芽から遅れること10日間、ようやく土が盛り上がり、ニガウリも硬い殻を破って発芽しました。

本葉も広がりつるが出始めてきたところで丈夫な苗を2、3本ずつ残して間引きをすると、茎は日に日に上へと伸びていきました。そして脇芽がたくさん伸びるように茎の先端を摘み取り、葉がぎっしり生い茂るように茎の先端やつるをネットの空いている場所に誘引しました。

7月中旬には、ネット一面に葉が覆い、朝顔には赤紫や青紫、ニガウリにはや黄色の可憐な花が咲き始め、ガラス張りのロビーの打ち合わせコーナーと通用門に見た目も涼やかな緑のカーテンが覆い茂りました。

環境に携わる当社は緑のつるを未来へ繋ぎ、来年も引き続き緑のカーテン作りに挑戦してまいります。

